



なんでやねん

発行責任者 倉橋 忠



No. 2

社会科(歴史的分野)を学ぶこと!?

社会科(特に歴史的分野)を「暗記教科」だと考えると、学ぶことの意味が半分以上なくなります。もちろん、記憶きおくしておかなければ、わからないことも多くあります。それは、どの教科でも同じことなのです。



たとえば、「米」を取り上げて、家庭科ではどうすればおいしいか、栄養的にはどうかということが課題になるでしょう。理科では米の化学分析ぶんせきの結果はどうか、あるいは「稲」の生育に必要な条件は何かと考えるでしょう。

歴史的分野でとらえる場合、原産地げんさんちはどこで、いつ頃から食べられるようになったのか、「稲」の栽培方法の伝ばん経路けいろはどのようなになっていたのか、「米」を食料とすることで、人々の生活や社会にどのような影響が現れたのか、これからはどうか?などと考えていきます。

そのように歴史的分野では、ある歴史的事実が生じた場合に、次の時代の人々の生活や社会にどのような影響を与えるのか(因果関係いんがんけい)、というように生活や社会の変化する様子を社会科学的に理解していこうとします。その目標は、君たちが大人になったときに、さまざまなできごとを合理的・客観的(歴史的)に理解し、公正に判断し態度(生き方の決定たいど)をとれるような能力を形成することにあります。

ところが、年号や事件名や人物名を「暗記」するだけでは、そのような能力は形成されません。自分の力で考え、判断する練習や学習をしなければ無理なのです。考えたり判断するためには、社会科学の研究成果から生み出された専門用語や研究方法を理解し、身につけることが重要になります。そこで、理解し記憶する事項は、そのような事件内容や専門用語や研究方法になり、「暗記」することは人物名などのような考えてもわからないことに限られてきます。しかも、今の学習内容が、後に高度な内容に発展する可能性をおびた基本的な内容に限られてきます。覚えることは必要最小限にして、考えることに力をそそいでください。

今度の中間考査のポイント

今度の中間考査のポイントを示しておけば、次のようなことがらが重要ポイントということになります。特に、歴史的分野の場合、項目の内容を覚えるだけでなく、それぞれのことがらの原因と結果を結ぶ因果関係を理解しておくことが重要になります。授業中の内容をノートを中心に復習し、考えてください。

知識・理解に関することから

年代のあらわし方・世紀の数え方、人類の特徴、アウストラロピテクス、打製石器、旧石器時代、ダーウィン、磨製石器、新石器時代、エジプト文明、メソポタミア文明、インダス文明、黄河文明、国家、文字、太陽暦、象形文字、太陰暦、ポリス、デモクラチア、ヘレニズム文化、ローマ帝国、キリスト教、仏教、儒教、殷、甲骨文字、秦、始皇帝、漢、シルクロード、青銅器、骨角器、ナウマン象、黒曜石、貝塚、縄文土器、縄文時代、竪穴住居、稲作農耕、鉄器、弥生土器、弥生時代、高床式倉庫、『魏志』倭人伝、邪馬台国、卑弥呼、古墳、前方後円墳、埴輪、大和政権、大王、氏、姓、氏姓制度、国造、百濟、新羅、須恵器、倭国

資料活用技能を試す問題

様々な古文書こもんじょ(昔の文書などのこと)から、当時の時代の社会を読みとること。歴史的な時代の地理的な関係などを地図の上で考えることができるなど。

社会的思考・判断を必要とする内容

農耕のはじまりと文明、農耕のはじまりと身分制のおこり、遺跡いせきから発掘はっくつされた遺物からその時代の社会を推理すいりすることなど。

関心・態度を試す問題 (次のうちの1つを出題します)

この問題は、歴史的な事実を具体的に指摘してきし、それについての自分の意見を論理矛盾むじゆんなく、説明できることが重要になります。

授業の中で考えてきた内容で、自分の意見を説明できるようにしておくこと。たとえば、石器を使っていた時代の人々のくらしと今日のくらし。

古墳時代の民衆の生活をどう考えるか。